

金銀花



渡辺薬局

Tell 0551-22-6161

板藍茶、板藍のど飴が慢性的に不足してしまっています。緊急事態宣言で突然に外出自粛になって、飲食店の営業自粛や公共施設の閉鎖も相次いで、日常が変わってしまいました。わが家は「おうちご飯派」なので、いつも通りという感じですが、それでもたまには出かけたいと思います。早く以前のような生活が戻るようにと祈るばかりです。写真はリスブランの消毒剤ですが、手にスプレーしてもガサガサになりません。少しずつですが、使い捨てマスクや消毒グッズも入ってきますので、必要な方はご連絡ください。



【いまこそ体力と免疫力を】

人間がウイルスを発見したのは 19 世紀なので、200 年前には存在さえわからなかったことを考えると、まだまだ分からないことの方が多いため当然かもしれません。

ウイルスは原始地球の時代から存在していて、数えることが不可能なぐらいの種類があります。

病気を起こすばい菌には「細菌」と「ウイルス」があるのですが、この区別が解りづらいですね。

簡単にいうと、細菌は自分の家(細胞)を持っているので自活できますが、ウイルスは持ち家(細胞)がなく裸なので、早く誰かの家(体の細胞)に侵入して乗っ取らないと生きていけないのです。

ウイルスのなかには人間の役に立つものもあるので、すべてが悪者でもないのですが、人間の細胞に入り込んで、悪い影響を与えるウイルスのことを病原性ウイルスといいます。

今回のコロナウイルスは、新型で感染力も強くて間質性肺炎を起こすので厄介です。

感染しても軽症になるか重症化するかの違いは、喫煙や糖尿病、高血圧などの持病で基礎体力が落ちていないか、年齢などといわれています。

流行してから習慣を変えても遅いですし、年齢はどうにもなりません。高令でも回復している人もいますから、やはり普段から免疫力と体力を付けることが必要ではないでしょうか。

4 月 11 日、日本中医薬研究会主催の web 交流会が、2 ヶ月間武漢で診療にあたった天津中医薬大学学長の「張 伯礼先生」をお招きして開催されました。

有効な薬もワクチンもない状況で、人工呼吸器とともに中成薬を併用することで、治癒の成果を上げられたという報告のなかで、予防として中成薬をのむことが有効とのお話でした。

日本でも「補気、補陰、活血」の処方を早めにのむことが予防になると確信しています。

張先生がお使いになった処方を見ると、「麦味参」「銀翹散」「冠元顆粒」「衛益顆粒」「清肺治喘丸」「麻杏甘石湯」などがその症状ごとに応用できます。

予防としてののんでいただける処方もありますので、どうぞご相談ください。

